

学友会会誌 Vol.45目次 -2025年12月発行-	執筆者(敬称略)	肩書
表紙写真『阪大病院 統合診療棟』	-	阪大病院 広報
総会特別講演 『なおらないからなおるへ-難病の病態解明と核酸医療による分子標的治療』	戸田達史	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 病院長
<b>シンポジウム『AI 医学のこれから - 研究から AIホスピタルの実装を目指して-』</b>		
①基調講演「AIと共に創する医療・ヘルスケアの未来」	川上英良	理化学研究所 数理創造研究センター(iTHEMS) 数理展開部門 医科学データ駆動数理チーム・チームディレクター (兼務)生命医科学研究センター(IMS)予測医学特別プロジェクト 医療データ数理推論特別チーム・チームディレクター
②パネルディスカッション「阪大病院AIホスピタルプロジェクト-これまで・これから-」	川崎 良	公衆衛生学 教授
③パネルディスカッション「ER診療×音声入力救急システムの可能性」	織田 順	救急医学 教授
④パネルディスカッション「ウェアブルデバイスを用いた高齢患者評価システムの開発」	山本浩一	老年・総合内科学 教授
<b>生涯教育講座『超高齢者の医療と健康』</b>		
①超高齢者の医療と健康	山本浩一	老年・総合内科学 教授
②疫学研究から見た高齢者の医療と健康	神出 計	保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座 教授 前 専攻長
③高齢看護とCGA	竹屋 泰	保健学専攻 老年看護学 教授
④高齢者のヘルスケアの現状と展望	藤本 拓	老年・総合内科学 助教
⑤超高齢社会の医療の未来:老化細胞を標的とした治療法開発	中神啓徳	健康発達医学寄附講座 教授
⑥誤嚥性肺炎診療から学ぶ高齢者診療のあり方	吉松由貴	セントトーマス病院/ガイズ病院 老年科 医師、グリニッジ大学 人間科学科 研究生
<b>特集『CiDERの取り組みとポストコロナの感染症対策』</b>		
①COVID-19後の感染対策の現状	忽那賢志	感染制御学 教授
②CiDER-EDUが拓く感染症オンライン教育の現在地と展望	和田聖哉	感染症総合教育研究拠点人材育成部門 医療情報人材チーム、革的医療情報システム開発学(日本財団)寄附講座 寄附講座助教
③大阪大学感染症総合教育研究拠点企画室が取り組む感染症情報発信活動	豊川貴生	感染症総合教育研究拠点 企画室、感染制御部 特任准教授
④下水サーベイランスによる感染状況の把握に関する特徴	村上道夫	感染症総合教育研究拠点 教授
⑤新興感染症への備えとしてのウイルス研究の展開	田鍬修平	感染症総合教育研究拠点 感染症・生体防御研究部門 ウイルス制御学G ワクチン開発拠点 先端モダリティ・DDS センター 抗ウイルス戦略チーム 特任准教授
<b>地域医療に関する研究助成報告</b>		
①中河内地域における心不全地域連携バスの構築および運用に伴う心不全の早期発見および再入院予防効果の検証	片平征伸	市立東大阪医療センター 循環器内科 医員
②胸部X線画像から骨密度を測定する人工知能-大学病院のデータで構築した人工知能が地域の病院において精度が担保されるのか-	喜多洸介	安藤病院 整形外科 医師(現:人工知能画像診断学共同研究講座 学振特別研究員)
③簡易型顔面表情筋測定装置の開発とそれを用いた顔面神経麻痺スコアの標準化	宮本憲征	大阪母子医療センター 耳鼻咽喉科 医員
編集後記	森井英一	病態病理学 病理診断科 教授/会誌編集委員長